

～次のように厚生労働省から発信されておりますので、
地域のみなさんにもお知らせします～



令和5年（2023年）11月30日

中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について

（ 周 知 ）

今般、中華人民共和国（以下「中国」という。）において**小児の呼吸器感染症**が増加していることが報告されています。

原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RS ウイルス、アデノウイルス等が報告されており、**未知又は新たな病原体は確認されていません**。

医療機関においては、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内で流行していないマイコプラズマ肺炎や RS ウイルス感染症等も念頭に置いて診察にあたることが重要です。また、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があります*。

国内においてもインフルエンザの発生が続いていること、中国同様に冬季に入ることから、引き続き呼吸器感染症に対する一般的な感染対策が推奨されます。

本件については、現時点で情報が限られていることから、情報収集を継続中です。

※令和5年11月24日付け厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課発出の事務連絡より要旨抜粋



北海道留萌保健所